

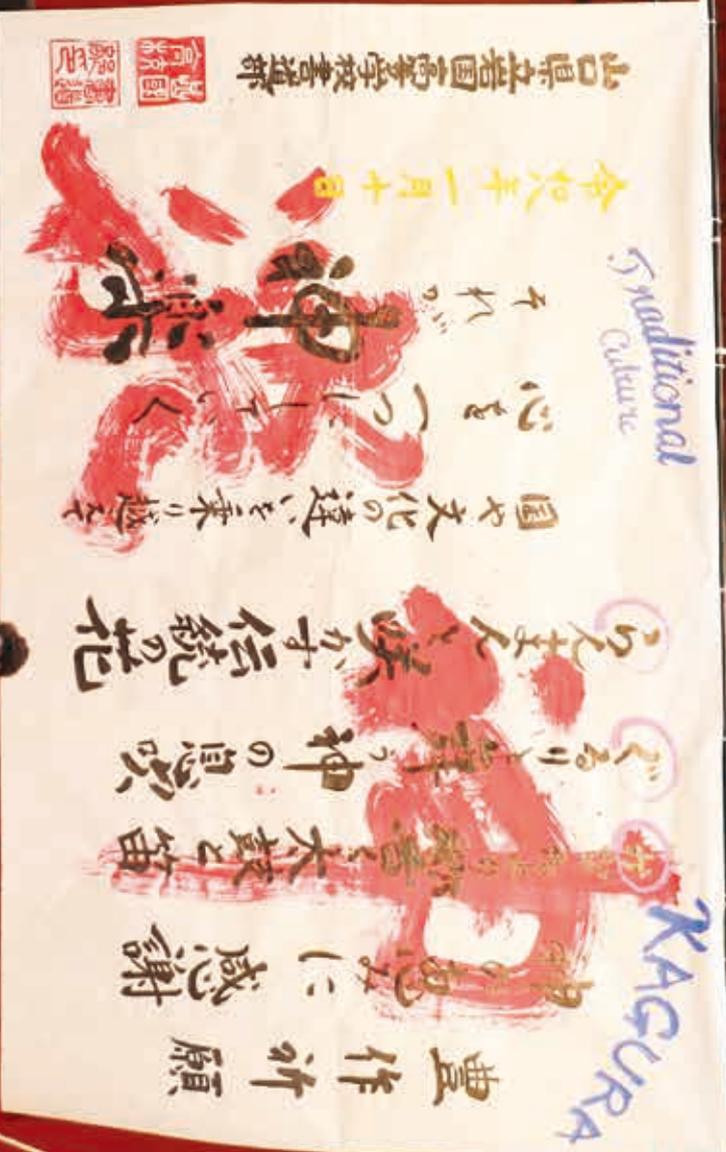
わがまち

議会だより

第142号 2026. 2. 1

書初めのあとは 楽しく日米交流

〈新春日米交流書初め会〉



基地関連交付金	2億530万円の積み立て……………	p2
議員報酬と定数の適正化	……………	p3
一般質問	……………	p4~7
地域の課題をクローズアップ	……………	p8・9
議員と中学生が協働学習	……………	p10・11
議会が政策提言書を提出	……………	p12



基地関連交付金 2億530万円

給食センター基金の積み立て見送る

国からの米空母艦載機部隊配備特別交付金は、給食センターの基本設計、実施設計の具体的金額、必要性や国の会計検査の厳しさにより見送ることになる

12月定例会は、12月9日から17日までの9日間の会期で開かれ、一般会計は、県の人事委員会勧告に伴った一般職の給与改正と議会費、総務費、民生費などを含め、合計2億4600万円の追加補正となりました。懸案されていた副町長には、元都市建設課長の山下純二氏が賛成多数で選任されました。一般質問には4名が登壇し、町政を問いました。

補正予算

*広報わきカラー化 28万円

問 文書広報費の追加予算の内訳と、広報わきの表紙をカラーにした理由は。

(津島議員)

答 20ページの予算で組んでいたが、24ページに増えたことと、月1万円程度の増額で表紙がカラーになり、モットーである元気で笑顔あふれる町として町民の皆さんが見て、明るくなるようにした。

*消火栓取り換え工事 259万円

問 消火栓取り換え工事の場所と、内容については。

(上田議員)

答

岩国市水道局が古い水道管を順次交換しており、それに伴って消火栓も更新している。和木2丁目のこども園と三井住宅の間の道路で、県道から旧まつや商店までの約250m間の水道管を取り換える。その中で消火栓3カ所を更新する。

*給食センター基金の積み立て見送り

問 今回、米空母艦載機部隊配備特別交付金を活用した給食センター建設の基金が、造成されていない理由は。また、来年度には可能か。(上田議員)

答

中国四国防衛局や防衛省との話で、基本設計、実施設計による具体的な金額、建物図面が必要であるというところで、本年度の積み立て、基金造成を見送った。来年度すぐ積み立て

答

られるかは、現時点で回答できない。

*駒ヶ迫鍛冶屋作線整備事業の測量設計委託料 100万円

問 道路整備事業の内容と理由は。(嘉屋議員)

答

駒ヶ迫鍛冶屋作線(蜂ヶ峯公園へ上がる道路)の区間約250mを道路舗装や、路盤の全面改良工事を令和8年度に実施することを想定し、対応するため。

*米空母艦載機部隊配備特別交付金を利用し、基金積み立て

問

各種基金の積立額は。(嘉屋議員)

答

健やか安心基金3億4455万円、地域振興事業助成基金7980万円。すくすく子ども基金1億4506万円

円、和木町ICT教育推進基金768万円の4つの基金。

問 各積立金は、何年分になるのか。(三分一議員)

答

健やか安心基金は年間5千万円程度で約6年分、地域振興事業助成基金は年間1千万円で7・8年分、すくすく子ども基金は年2700万円程度で約6年分、ICT教育推進基金は年1000万円程度で7年分を見込んでいる。

*テニスコート改良に利用 6616万円

問

石油貯蔵施設設立地対策等補助金の金額と利用は。(嘉屋議員)

答

令和7年度で6616万円をテニスコート改良に使用し、計画では1億円ほどである。

*職員給与に国から地方交付税補填

問 職員給与に対して国からの補助はあるのか。(三分一議員)

答

国から一定程度の地方交付税が出る。

*将来を見据えた配水管工事委託料 972万円

問

瀬田2丁目の配水管の新設に対するメリットは。(上田議員)

答

町道内にルートを変えることにより、将来的な事業

費が安価になることや、維持管理が容易にできる。

*来年度より「こども誰でも通園制度」開始

問

病院や買い物などをする際に便利になるが、対応する職員や登録部署は。(灰岡議員)

答

こども園職員2名の対応となる。教育委員会で認定を受けた方が、予約をしての利用となる。

*債務負担行為で和木駅管理委託料 1200万円増額

問

和木駅管理委託料が3年間で1200万円の増となっている理由は。(森脇議員)

答

上限としての金額で3年後を見据えた賃金上昇への対応、修繕費などを見越している。



指定管理者が(株)不二ビルサービスに決定

議会改革特別委員会

令和6年5月22日、全国町村議会議長会において「町村議会の議員報酬の適正化を促進するための決議」が議決されました。

これにより、全国的に町村議会では、議会改革や報酬引上げについて検討や見直しを進めてきています。

本町でも更なる議会改革を進め、議会・議員の活動量の豊富化と、議員報酬の適正化に向けて取組むことを目的に、このたび議会改革特別委員会を立ち上げました。昨今、町議会議員のなり手不足が深刻化しているなか、議会に多様な人材の参画を促す観点から改革を進め、平成10年以降変わっていない報酬のありかたを住民の皆さまのご理解をいただきながら、下記のとおり活動していきたいと思っております。

【議会改革特別委員会 活動内容】

- ※議員報酬と定数の適正化
- ※議会活動の活性化
- ※議員のなり手不足対策

【委員会構成】

委員長	灰岡裕美
副委員長	上田丈二
委員	森脇明美 嘉屋富公 津島宏保
	明本光弘 三分一淳



周防大島町議会での視察研修

議会視察研修報告

10月15日から17日の3日間において総務文教・民生建設常任委員会の委員10名は、15日に徳島県徳島市のふれあい健康館、16日午前中は県立あすたむランドで視察研修を行い、施設の運営状況や健康促進活動について学んだ。

16日午後から17日の2日間は、徳島県北島町で「全国コンパクトタウン議会サミット」が開催され、全議員が出席した。



全国コンパクトタウン議会サミットに参加



ふれあい健康館で研修中

給食センター建て替え事業の財源等は

あけもと みつひろ
明本 光弘 議員



町長 整備基本計画どおり行う



動画はこちら →

質問

給食センターの建て替え事業に「一時的に」15億円ある財政調整基金を「どーんとおろして」事業費に充てるとあるが、今後の町財政に危険はないか。

町長

9月議会において15億円ある財政調整基金をどーんとおろして事業費に充てるという私の発言で誤解を与えている部分がありましたら、この場でお詫びをさせていただく。改めて給食センター建て替え事業の財源等についてご説明をさせていただく。令和7年2月に作成した学校給食センター整備基本計画では、概算の総事業費を15・4億円と見込んでいる。財源としては、給食センターの供用開始を令和12年の2学期と想定し、米空母艦載機部隊配備特別交付金を充当する仮称給食センター整備基金を令和8年度から積み立てた場合、5年間で12億円、地方債が約



関ヶ浜の給食センター建て替え予定地

質問

2・5億円、一般財源が約9千万円と見込んでいる。米空母艦載機部隊配備特別交付金を全額給食センター事業に充当する期間に実施する大規模修繕や各種建設事業については、他の補助金等の活用を検討し、補助金等がない場合は、地方債を活用することで事業を実施することを想定している。

町長

令和12年度の供用開始なら、令和8年度から令和11年度までの各年度の2億6千万円の交付金は確定しているのか。

米空母艦載機部隊配備特別交付金は、法的根拠はないが交付期間は、令和4年度から15年間は、毎年国の予算の範囲内で配分ということに理解をしている。

質問

令和11年度までの各年度の2億6千万の交付金は確定しないということだ。保証がされていないということなのか。

町長

米空母艦載機部隊配備特別交付金は、これまで年間約2億5千万いただいているが、議員の言われているとおり確定ではない。

質問

「これは速やかに給食センター建設に向けてゴーサインを出す時期だなと理解、考えております。」という答弁は修正される考えはないか。

町長

給食センターのゴーサインを修正する考えは一切ない。



米空母艦載機部隊配備特別 交付金についての考え方は

なかむら みつこ
中村 充子 議員



町長 本町の安心安全の確保、
地域振興のため要望に行く

動画はこちら →



質問 米空母艦載機部隊
配備特別交付金につ

いての考え方について問
う。

米空母艦載機部隊配備特
別交付金は何もしなくても
毎年、必ず支払われるもの
ではないと考えるが町長の
考えは。

町長 国の外交・防衛政
策を尊重し、これに

協力するということに対
し、和木町の姿勢に何ら変
わりはない。私は山口県基
地関係県市町連絡協議会の
一員として、今後も継続し
て国において予算措置が講
じられるよう取り組んでい
く。加えて、防衛省、外務省、
中国四国防衛局との協議の
場があれば、周辺地域及び
本町の安心安全の確保、地
域振興のため交付金の要望
に行く所存である。

質問

出前町長室につい
て問う。出前町長室
でたくさん出された住民の

多様なニーズにどのよう
に
応えていくのか。

町長

いただいた意見は
重要度や、予算の規
模によってもランクに分
け、優先度を決めてから対
応する予定。



出前町長室

ただし、すべてのご意見
や要望に対応できるとは限
らない。中には予算の制約
等により、どうしても対応
できないものもあるうかと
思う。

町民への報告の方法及び
時期だが、町のホームページ
への掲載並びに、公共施

設において閲覧できる形を
考えている。

報告の時期は、対応や回
答を真摯に検討していく必
要があることから、年度内
を目途に考えている。

質問

今後も出前町長室
を続けていかれるの
か。

町長

出前町長室の試み
は素晴らしく意義深
いと好評である。

まず、意見や要望を取り
まとめ、役場内で今後の対
応や回答を検討していくこ
とが何より重要であると考
えている。今後の開催予定
は未定である。

質問

小学生の低学年の
不登校についての報
道があった。

和木町は低学年の不登校
はあるのか。

不登校児童にどのように
関わっているのか。

教育長

低学年の不登校児
童数については、全
国で2万2863人となっ
ており、小学校全学年の不
登校児童数の約16・6%と
いう割合になっている。

ここ10年ほどは増加の一
途を辿っており、特に不登
校の低年齢化を危惧してい
る。和木町は昨年度の調査
において報告しなければな
らない低学年の不登校児童
はいない。



和木小学校校舎

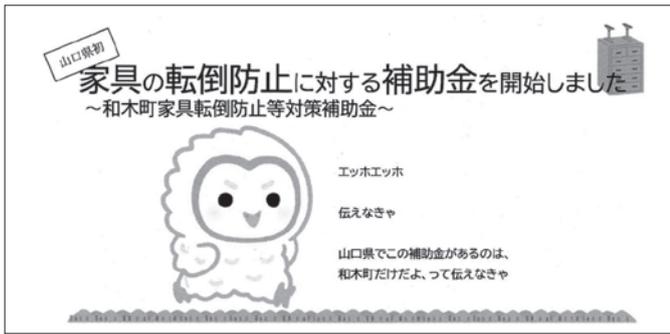
家具転倒防止等対策補助金の申請が少ないのでは

もりわき あけみ
森脇 明美 議員



企画総務課長 引き続き制度の周知、啓発を行っていく

動画はこちら →



転倒防止の補助金を利用しよう

質問 令和7年度新規事業で、家具転倒防止等対策補助金が組まれたが、申請件数と今後の見通しを問う。

課長 現在の申請件数は2件だが、すくすくフェスタ等で行われた補助金に関するアンケート調査では、認知度は56%と半数以上あった。今後の活用意向も、35%が補助金を活用したいとの

結果だった。引き続きこの補助金制度の周知、啓発を行っていく。

質問 南海トラフ地震を想定し、12月7日に沖灰場・新地地区で行われた津波避難訓練の内容は。

町長 今回の訓練は、自治会や地域の方と協力し、要支援者に対する避難支援、災害状況などの情報提供、避難所の開設、救助活動、安全意識を高める防災講和の実施を行った。

*町内の在留外国人への対応は

質問 現在、町内に住む外国人の状況はどうか。

住居サービスクラス 令和7年3月31日現在の町内における外国人の総人数は125人で、国籍別ではベトナムが54人・中国が39人・以下韓国・フィリピン・インドネ

シアと続いている。ここ数年の推移は、町内の事業者が技能実習生の研修を始めた平成30年頃から急激に増え、コロナ禍は一時的に減少したが、現在はコロナ禍前の人数にもどっている。

質問 町の行政サービスとして、住民票の作成、各種手続き、税金や健康保険など行政としての対応はどのようにしているか。また、課題や問題点があれば問う。

課長 技能実習生については、受け入れ事業者の担当が本人の委任状を持参して各種手続きを行っている。

多人数の転出入がある場合は、あらかじめ受け入れ事業者から、本町へ連絡をいただき、繁忙時を避けるなどの調整や、当日対応できる人員を確保するなどの対策をとっている。

課長 生活ごみは、町の収集ルートは介さないで、基本的に事業者が処理すると聞いている。騒音等の諸問題は自治会や事業者と密に連絡をとり、対応していく。

質問 現在本町には、技能実習生が30〜50人一定期間住んでおり、和木5丁目では、その住居が準備されていると聞いている。本町はその状況を把握して、ゴミの問題や騒音について、事業者と自治会や行政との連携はとれているか。



課長 生活ごみは、町の収集ルートは介さないで、基本的に事業者が処理すると聞いている。騒音等の諸問題は自治会や事業者と密に連絡をとり、対応していく。

Q 瀬田口大谷線に注意喚起の標識、看板の設置を

うえだじょうじ
上田 文二 議員



都市建設課長 早急に設置を実施していく

動画はこちら →



課長 落石が起こった場合には、石を撤去するだけでなく、斜面の状況等を確認し、対策が必要な場合については適切に対応

質問 この他にも、道路上に落石もあり、道路崖側の調査、修理、また交通車両等の安全確保の為に看板や標識の設置の検討は出来ないか。

課長 月に一度、担当職員によるパトロールを実施している。通行に支障が出た場合には、早急に対処している。大雨や台風など予測が可能な場合は、町内業者などいざという時のために、待機等も含め対応している。

質問 瀬田口大谷線は枝木や倒木による交通の障害が度々起っている。道路の安全を確保する手段について検討出来ないか。



枝木、倒木、落石に注意が必要

質問 河内神社を大谷地区では長く信仰し、大切に祀ってきたが、由来、歴史については表示がされて

町長 できるかぎり自治会で検討してほしい。

質問 町内史跡の修理費用を、町が自治会に協力する検討はできないか。

道路標識もしくは注意看板の設置は早急を実施をしていく。

いないので検討できないか。(教育委員会資料では、河内神社については瀬田八幡宮の末社として河内社とあり、祭神は瀬織津姫命で由緒は不詳)

教育長 指定文化財としての証明など、また政教分離の原則からも補助を行うことは難しい。

質問 今後人口減少が進むことで単独の自治会だけでは、修理などの対象が出来なくなる。大切に守っていく上で、自治会など民間に呼びかけて史跡などの修理基金の積み立てを作るなどの検討をできないか。

質問 和木町内には、神社やお寺またお堂など他にも多くの史跡が残されている。このような歴史があり、大切に保存してきたものに対して、修理等の費用に対する補助制度の検討は出来ないか。

町長 年に2回行政懇談会を行っている。こういったところで議題として出してみるのも一つの方法かなと思う。



大谷地区で信仰されている河内神社

事項

委員会では、地域に根差した大きな問題が提出され改善に向けて審議しました。

総務文教常任委員会

問 広島市教育委員会では、防犯カメラを市立小中学校に、設置するかどうか検討している。和木町教育委員会ではどのように考えるか。(中村委員)

答 疑いがあるからカメラを設置するのはなく、まず児童生徒及び教職員を信頼することにも、開かれた学校づくりを進めることで、物理的に不適切な行為が起らないような環境整備を図っていききたい。

問 小学生の児童でスマイルルームに通っているが、給食を保健室で食べるのではなくスマイルルームで食べる事はできないか。(中村委員)

答 本年度からは、中学校相談室で食事をすることとしている。

問 スマイルルームのホームページに小学生の写真がないと保護者の方より指摘があったが、アップデートされたのか。(中村委員)

答 内容を要望された保護者の方に確認し、改善したチラシをホームページにアップデートした。

ホームページにアップデートした。

問 一時預かりの保育料に対して、町独自の補助制度の検討をできないか。(上田委員)

答 一時預かり事業は、1日あるいは、短時間の預かりであることから、保育料の補助は考えていないが、国の動向や他の自治体の取り組みについて、注視していく。

問 4丁目JR線路や引き込み線の高架下の道路に3か所防犯灯がない箇所があるが、設置の検討を出来ないか。(上田委員)

答 指摘の場所への街灯の設置については、必要性を鑑みて検討するが、街灯の新設については一定程度充足していると考えている。

問 県内高校の統合について、14校ある高等学校を半分の7校にする計画がすすんでいるが、和木町教育委員会の対応と考えるについて伺う。(上田委員)

答 進路選択に関わる事なので、報道で出ている事については、中学校からも情報提供をするように指示した。今後県教委からパブリックコメント(意見公募手続き)を受けての対応や意思決定に対して、詳細な情報収集に努める。

問 あいあいバスの運行の課題で、ルート、料金、委託会社、低床バスへの買い替えについて伺う。(兼本委員・三分一委員)

答 運行ルートの縮小も検討の必要があるが、現状ではルート及び便数は維持していく。すぐの改定は考えていないが、運行形態の大幅な見直しの際に検討する。現状は和木交通に協力をお願いする。バスの更新については、現状ルートでの適正や価格について検討する。

問 和木町美術館の民間利用や休館中の有効利用は。(兼本委員)

答 一般利用の貸館として、電気店の家電製品の展示会やダンス、健康体操などの活動、ミュージカルの練習や学びの場として利用されている。条例に基づいて利用して頂きたい。

問 出前町長室をこの度4回開催されたが、町民からの質問に対しての報告はどのように行うのか。また、今後の開催予定は。(三分一委員)

答 いただいたご意見や要望を取りまとめ、役場内で対応や回答を検討し、年度内での報告を目途に考えている。ホームページ及び公共施設で閲覧できる形をとりたい。今後の予定については未定である。

問 子どもや大人が自由に使える屋内の居場所づくりについて施設の利用の検討は。(三分一委員)

答 教育委員会関係の施設の使用は、あらかじめ使用許可を受けることになっているため、許可なく自由に使うことは出来ない。

問 給食センターの建設で岩国市、大竹市との地域連携する場合と

町単独での建設を行う場合の比較検討はしたのか。(三分一委員)



町独自の取り組みを

町単独での建設を行う場合の比較検討はしたのか。(三分一委員)



文化祭の展示

常任委員会審議

問 公民館講座が減っている理由について及び、今後の対応は。

答 (明本委員) 平成27年度に54団体であったが、令和7年度では35団体に減少している。

コロナ禍の影響や文化協会展示会出席者数の減少と同様に指導者、会員の高齢化などである。

公民館講座として、やってみたいと相談があれば、会場の確保などの対応や登録要件を満たせば認定団体として登録し支援する。

問 米空母艦載機部隊配備特別交付金を活用した基金の種類と積立額については。(明本委員)

答 健やか安心基金今年度積立額1億3851万円。地域振興事業助成資金積立額2000万円。和木町すくすく子ども基金積立額4400万円。和木町ICT教育推進基金積立額220万円。

問 米空母艦載機部隊配備特別交付金をすべて給食センター建設費に充てて、基金を活用し

た他の事業が継続できるのか。(明本委員)

答 活用している基金のいずれも給食センター完成予定の令和12年度時点において枯渇することなく、事業を継続することが可能。

民生建設常任委員会

問 駒ヶ迫鍛冶屋作り線の桜が伐採され寂しいと町民から意見。今後の予定は。(森脇委員)

答 落枝が激しく、倒木の危険性もあり令和5年度に伐採。桜は、「嫌地」現象があり、同じ場所に植えることができ



公園への道沿いに花の植え込みを

ない。現状では竹木の繁茂により、日当たりも悪く、十分な生育は見込めない(公益財団法人 日本花の会の見解)。別案になるが、蜂ヶ峯総合公園内に、シンボルとなるような桜の植樹を検討中。土壌改良が必要なことや植樹後の管理も勘案し、1、2本の植樹になると

思う。

問 天候を気にせずに遊ぶ、保護者同士がコミュニケーションをとれる施設、コーナーを設けてほしい。(津島委員)

答 蜂ヶ峯総合公園Bの多目的室は、予約のない通常時、フリースペースとしてテーブル、椅子、屋内遊具が設置してあり、自由に利用できる。

問 町として小瀬川から新地までの引き込み線跡地に、桜並木を整備し、町民の新たなシンボリックなエリアをつくってみたい。(津島委員)

答 山口財務事務所より「国有財産の管理委託」制度の情報提供を受けている。

地方公共団体及び地域住民団体等が維持管理を行うことを条件として、国有地を地域福祉向上のために利用するというもの。桜並木も活用の方策として可能かと考えるが、後の維持管理について、地域住民との協力体制の整備が必要で、町の責任において全て実施するのは難しい。

問 自宅訪問の場合、利用券を発行した上で、助産師に直接本人が連絡する形は考えられないか。(灰岡委員)

答 産後ケア事業は転換期を迎えている。自宅訪問に限らず、利用しやすい事業にしていくには、予約方法の変更が必要。町内には受託機関がないので、単独での変更は困難。県や受託機関も交えた協議に参加し、すでに変更した市の状況も確認しながら検討していく。

問 坂根団地奥の砂防堰堤は、長い年月の間にも多数のクラックが入り大変危険な状態。県に要望してもらえないか。(嘉屋委員)

答 坂根団地の奥にある治山堰堤は、山口県が管理する構造物。状態は、県が定期的に点検を実施。対応が必要であれば、修繕工事等が実施されていくものと考えて。今回の審議事項については県に伝える。



砂防堰堤の点検を

問 小瀬川遊歩道を増やして欲しい。(嘉屋委員)

答 夜間などは転落等の危険度が増加するので、別のコースをご利用いただきたい。国管理の河川内であり、簡易的に設置できるような照明は許可を得ることは出来ない。設置する場合は、増水時にも流出しないような強固な構造のものが求められる。これまでも検討したが、工事費が高額になるなど困難な点が多い。

議会と中学生が社会科の協働学習

～中学生の主権者教育～

3年1組

町づくり



- 町民同士のコミュニティを充実させることで多くの意見を取り入れることができます。またその声を反映させることで町への不満解消に繋がります。
- 結果的に、各町民が町への誇りを持つと共に町をアピールするようになり「人口増加」に繋がるのではないのでしょうか。そして「より住みたい町」に近づいていきます。
- 学生時代にできることは、イベントでの活性化であると考えています。

「議員の感想」

町づくりには町民の意識も大切な要素と考えています。その他にも施設や環境対策、福祉、教育、行政など要素が多く議会も一つ一つ考えていきます。

空き地 利用



グループは町内空き地の利用で、3つの課題をあげました。1つ目は和木町の地価を下げる提案ですが、3年に1度の評価額を決める制度があるために難しいと判断しました。2つ目は駐車場を借りて利用する方法が良いと結論しました。3つ目は、旧幼稚園跡地の再利用は、カラオケ店などの娯楽施設を建設するのではなく、議員さんのアドバイスで、ショッピングモールや様々な店舗にレンタルして、町の収入や観光客を増やす案が良いと考えました。

「議員の感想」

生徒は私のアドバイスを上手に活用して、新たな提案に作り変えてくれました。

観光客を 増やす



- わき愛あいフェスティバルでは、時間によって朝は高齢者が多く、昼からは子ども連れの方が多いなどがわかり、時間によってターゲットを絞ることも考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- SNS やインスタグラムを活用する事が必要です。
- 一定の世代だけでなく広く知ってもらう為には地域の大人や行政の協力で和木町SNSを発足することやそのなかでの動画づくりに力を入れていくことが必要ではないかと考えています。

「議員の感想」

中学生が中心となる「和木町 SNS 部」は、地域を知ってもらうことができる意義深いネットワークになると思います。ぜひ、和木町議会も仲間に入れてください。

高齢者に 優しい町



和木町で実施している「あいの一声活動」や「給食サービス」を小中学生もボランティアで活動できるのではないかと考えています。作った弁当は、私たち中学生もお手伝いできるのではないかと考えます。

和木町には避難行動支援者制度がありますが、知らない人が多いです。理由としては個人情報を知られるのが嫌な人がいるからです。

日本はこの先災害が起きることが予想されるので、この制度を続けていくことや町民への周知が必要だと考えます。

高齢者にとって住みやすい町は子ども達や障がい者、全体にとっても住みやすい町であるので、高齢者にとって住みやすい町を作ることが大切だと思います。

「議員の感想」

高齢者に優しい町は町民全体が住みやすい町と考えていく必要があり、行政だけでは難しい問題も多く抱えており努力し、検討していく必要性を感じています。

和木町の 未来



- 限られた資金をうまく活用することで、和木町の強みを発見し、住み続けたい、住んでみたいと思う人が増えると考えます。
- 町の問題に目をむけ、若い人から高齢者までのさまざまな自然現象をみずえ、魅力的な町になるよう考えていきます。

「議員の感想」

毎年予算を審議し、町民のために有効に活用しているかチェックしています。人口減少については全国的なものですが、ゆるやかな減少でおさえられるような施策を考えていきます。

12月5日、議員は和木中学校で3年生の社会科学習「地方自治と私たち」で、授業のグループ学習に参加しました。

生徒たちは、和木町の課題だと感じたテーマ（土地利用、環境、交通、公共施設、観光業など）について事前に学習し、まとめた内容をグループごとに発表して、参加した議員がそれぞれの提案に対し、アドバイスをするという授業でした。

生徒の提案に、議員もたじたじとなるなか、今後の町づくりについて大きな刺激を受けました。3年後には選挙権を持つ中学3年生のみんなが、これからも町政に興味を持つことを願って、授業を終わりました。

3年2組

環境



- 野生動物とゴミの問題について考えました。
- 和木町内にのら猫が多いので、解決策は、地域レス活動として、のら猫の不妊治療や地域住民が協力して地域管理をしてのら猫の大量増を防いでいくことができます。
- ゴミの問題では、町内でゴミ拾いのイベントを行い、地域で活動することでポイ捨てを無くしていくことができます。
- やまと橋付近など町内にゴミ箱を設置するなどが考えられます。
- 住民同士のコミュニティ充実を図ることで、多くの意見を取り入れることができ、不満解消に繋がります。それにより、各町民が町への誇りを持ち、かつ町をアピールすることにより「人口増加」に繋げていくことができます。

「議員の感想」

のら猫の問題は議会でも何度か取り上げており、ボランティア団体が町内にないので不妊治療をできないが、地域での意識は大事だと思っています。ゴミ箱の提案も検討していきます。

公共施設



- 和木町には、学習スペースが少なく、自習や学習に使える場所が、和木町図書館しかなく狭いです。
- 中学校の備品が古く壊れています。サッカーゴールが壊れていて危険です。

「議員の感想」

町の図書館の学習スペースが狭いことは感じているので、議会で今後取り上げたいです。教育委員会とも相談してサッカーゴールには対処したいと思います。

大改造



- 和木町の公園の遊具が古いので古い遊具を撤去し、新しい遊具の設置かペンキの塗り替えをして欲しいです。
- 旧幼稚園をリフォームして勉強スペースや小さい子どもが遊ぶ場所が欲しいと望んでいましたが、議員さんとの話で撤去が決まっているとわかり、跡地利用で新しい施設として考えて欲しいです。

「議員の感想」

公園の遊具については調査し、行政と相談します。旧幼稚園跡地については、議会としても同様な意見もあり、検討していきます。

交通



- ガードレールや交通標記が錆びています。
- カーブミラーの位置が悪い箇所があります。
- 街灯が少ないと感じています。
- 歩道の白線が消えています。
- 議員の方との話を聞いて交通整備をする上で住んでいる人達の意見を聞くことも大事であり、必要に応じて予算を決めていることや自分たちが意見を出すことで反映されやすくなることがわかりました。
- 対処として、歩道の白線を濃くすることやガードレールを新しくする方法があります。
- 住民へのアンケートを取り周辺の課題点を知り、防犯灯や道路の整備をすることが大事だと考えています。

「議員の感想」

道路の設備だけでなく、町民の交通手段の課題も検討していく必要性を感じており今後も検討していきます。



議会が「政策提言書」を提出



坂本町長へ政策提言書を提出

「全世代、多様な背景を持つ人々が集える
コミュニティ拠点の創出を」
(いつでも、誰でも、自由に使える居場所づくり)

議会は、これまで数多く町民との意見交換会「議会町づくり懇談会」を重ねてきました。近年、その中から強く要望がありました「自由な居場所づくり」について、調査・研究を重ねましたので以下、政策提言として提出しました。

政策提言書

【提言内容】

1. 既存公共空間の多目的・複合利用の促進

総合コミュニティセンター、公民館関ヶ浜・瀬田分館、町立および小・中学校図書館、美術館、総合福祉会館、各地区の集会所等を改造活用し、多様な人々が利用でき、誰もが気軽に立ち寄れる、交流拠点としてのコミュニティスペースを整備。

(1) バリアフリー化

子ども連れから、高齢者、障がいのある方、外国人等、誰もが気兼ねなく利用できるよう、遊べるスペースや託児機能、多言語表示などの整備。

(2) いつでも・誰でも

運営時間や曜日を固定せず、朝から夕方まで開放する。多様なライフスタイルの住民が利用しやすい体制を作る。

2. 計画が未定の公共空間に新たにコミュニティ拠点を新設する。

旧幼稚園、旧保育所の跡地に、新たに上記の内容を含む施設を新設する。

議員をみずす人のための学校始めます

第1回 日時：2月16日(月曜日) 午後6時～7時30分
場所：和木町議会1階 委員会室

- 議会って何をするとところ
- 議員は普段どんな活動をしているの
- 議会はいつ開かれているの
- 議会のやりがいは
- 議員の報酬はいくら
色々な議会への疑問を解決

申込み方法

お電話・FAXでお申込みください。
和木町議会事務局 電話 52-2137
FAX 52-7273
メール gikai@town.waki.lg.jp

和木町議会議員をみずす人
また議会や議員に関心のある方
議員になるための「いろは」
を学びませんか

発行責任者
議長 兼 本 信 昌

広報広聴委員長
森 脇 明 美

広報部
上田 文二 中村 充子
明本 光弘 三分一 淳

私は防災士の免許を取得して11年になります。
一昨年11月に関ヶ浜に防災の講演に伺いました。和木駐在所所長さんは防犯を担当してくださいました。
最近は何歳にも関係なく巧みに騙す人がいて、大金を振り込む被害に遭っています。
防災は南海トラフ、地震や大雨、火災など課題が山積んでいます。リーダーの育成にも力を入れていくようにです。
私は三年前からペン習字を始めました。子どものように昇級を楽しみに毎月、本が届くのを楽しみにしています。
準初段になるとなかなか昇段しません。先生曰く、とても時間がかかりますとのこと。そう上手くいかないのが人生です。
毎日コツコツ、とにかく書くことを頑張っています。もともと早くから始めれば良かったと後悔ばかりです。机も購入して座って文字を書く時間が増え充実した日々を過ごしています。

(中村 充子)

編集後記